

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 5 月 日

事業所名 児童サポートチーム あおぞらの木

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1		・活動内容を工夫している。	・指定基準に基づいたスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切である	6			・人員配置に基づき配置している	・利用予定人数を把握し、職員配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		6		・危険箇所への点検、対応	・建物構造上バリアフリーは困難なため、環境を整え工夫している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6			・全員参加のミーティングを行う。	計画に沿って記録、評価、改善を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			・アンケート結果を確認し、改善に努めている	・保護者向け評価表にする評価と公表を実施し、意向を把握し改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6				ホームページにて評価を公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5			相談員等外部からのお話を聞いて改善に努めています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			・外部講師やZoom等研修を行っている。	・外部研修や内部研修を行い支援の質を高めるように努めています。
適	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			・課題、ニーズを確認し計画書の作成を行っている。	・保護者面談を行い、ニーズを把握したり、本児の課題などを話し合っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			・アセスメントシートを活用している。	・アセスメントツールの確認を周知徹底する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			・立案を通して1人ひとりの意見を検討する。	ある程度の活動を立案して、内容を話し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			・「静、動」色々な活動をバランスよく取り入れられる。	・月間予定を立案して、室内外でのプログラムや、戸外活動等様々な活動内容を計画している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6				・それぞれに適したプログラム、イベントを実施。

切 な 支 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			・児童の特性に応じ活動内容を工夫して作成している。	・一人一人の発達に応じ、個別の課題と集団適応、社会性の課題を支援計画に入れていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			・支援開始前のミーティングでスケジュールの確認を行う。	・毎回ミーティングを行い確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			・翌朝振り返りを行い情報を共有する。	・翌朝に行っています。 ・急を要する場合は当日行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			・日々の記録、日誌を付け取り組んでいる。	・毎回支援記録残しています。問題、課題があればその都度話し合っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			・定期的にモニタリング、改善、見直しを行って行く。	・状況に合わせて行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6			・基本活動を組み合わせている。	・ガイドライン総則を周知し、基本活動を組み合わせ支援しています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			・会議内容を全職員で共有している。	・児童発達支援責任者が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6			・学校、保護者より情報を頂き急な変更対応している。	・保護者より年間計画や行事予定のコピーを頂き把握する。 ・急な連絡も対応できるように努める。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					・該当児童の在籍なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている					・支援会議を行い、情報共有 総理解に努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している					・現在は該当児童はいないが、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所への移行時は提供をします。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1			・STや外部講師を入れて助言や研修を行っている。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6			・戸外活動、公園等での交流する機会はある。	・新型コロナウイルスのため行えていない。

	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している			6		・参加を検討していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6				・日々の送迎の際に子供の状況や課題について話をする機会を設けている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			6		・検討をしていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				・契約時に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			・日頃から相談しやすい環境を整える。	・直接助言を行ったり、定期的なモニタリング時に相談の時間を設けています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6				・R5,3月にお招き会を開催 今後定期的に行う予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			・契約時に苦情相談窓口、苦情ボックスの説明を行い対応している。	・相談窓口や苦情ボックスの周知徹底。 ・苦情や相談があった場合には即対応をする。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			・活動の様子、行事予定を発信している。	・あおぞら便りやメールにて発信している。
	35	個人情報に十分注意している	6				・鍵付きの保管庫に保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			・特性に配慮し、伝達の工夫をしている。	・日々の様子を連絡帳や公式ラインを通して発信している。 ・送迎時に申し送り等にて保護者との連携
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	5		コロナ感染症のため行えていないがハローウィン等訪問して交流している。
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6				・保護者への周知は十分でないため、改善に努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				・年2回 火災訓練実地 ・地震、津波、不審者訓練も検討
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			・社内研修を行っている。	・研修内容を周知し、日々の支援に努めている。

同等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				・該当児童なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			・保護者に聞き取りを行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		・記録を残し職員間で共有している。	・報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有し事故防止に努めています。